

しゅうきよく 褶曲も断層も地下では1本の断層でつながっており、地震の重要性は変わらない

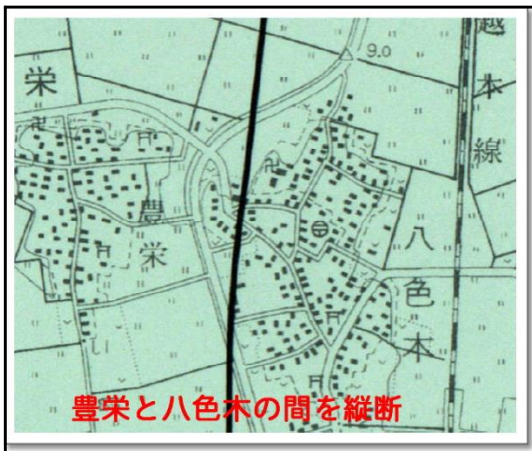
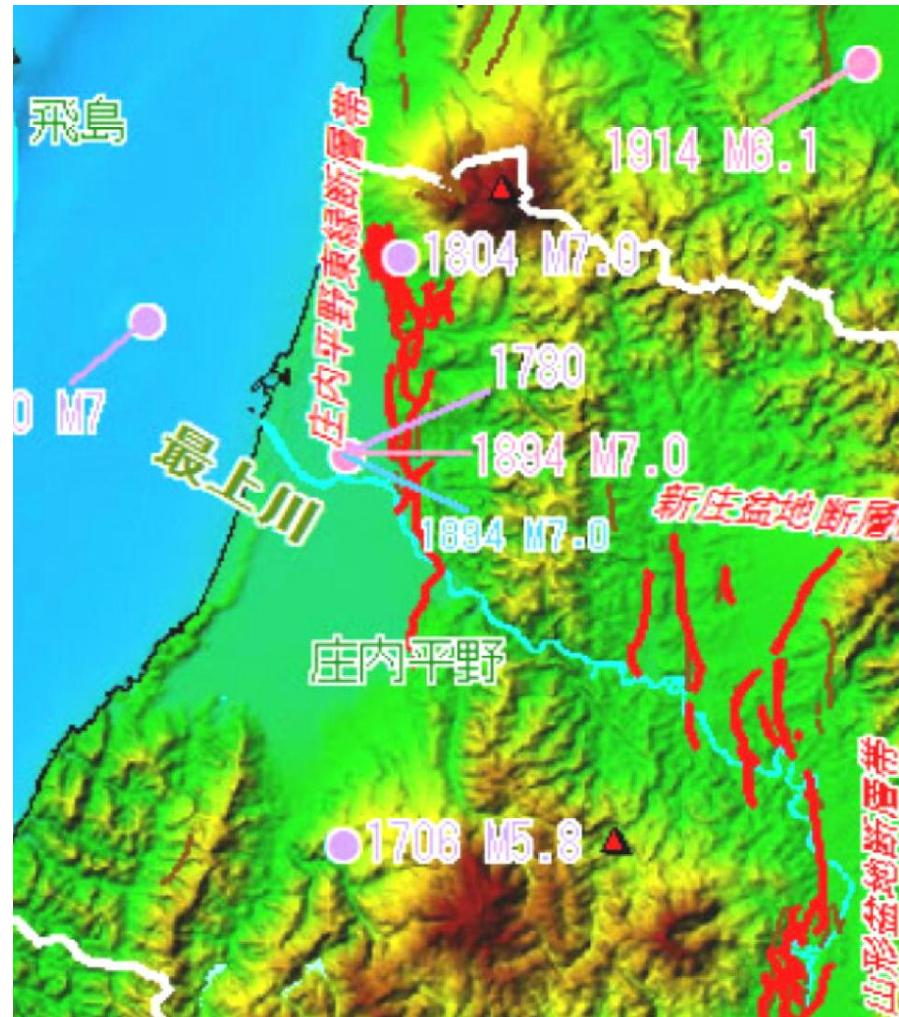
今年（2024年）
1月1日の能登半島地震は、M7・6の大きな地震でした。

4の年に地震多い

庄内地方近隣で過去の地震を振り返ると、
1804年（文化1）
7月10日の象潟地震（M7・0）、

1833年（天保4）
12月7日出羽・越後・佐渡（M7・0）、
1894年（明治27）
10月22日の庄内地震（M7・0）、
1964年（昭和39）
6月16日の新潟地震（M7・5）、
2004年（平成16）
10月23日新潟県中越地震（M6・8）、

末尾に4のつく年に多く地震が発生しています。
1944年（昭和19）
12月7日には左沢地震（M5・5）もありました。
4の年ではありませんが、2019年（令和元）6月18日に山形県沖地震（M6・7）が発生しました。

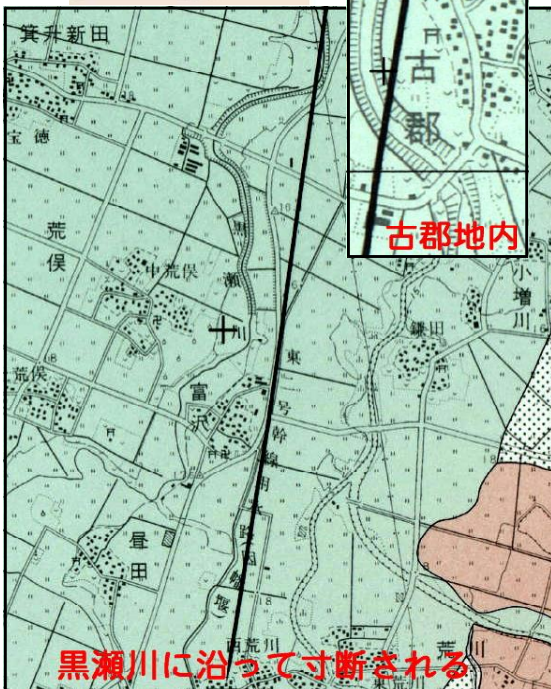
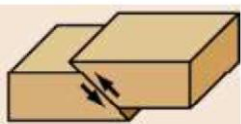


豊栄と八色木の間を縦断



藤島元町は藤島川に沿って寸断

逆断層



古郡地内

黒瀬川に沿って寸断される

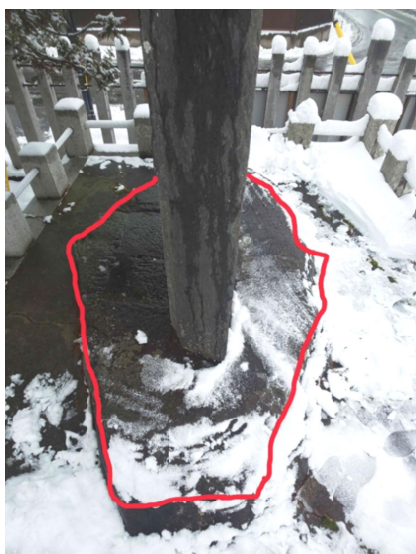
藤島川は活褶曲

庄内平野東縁断層帯（遊佐町―鶴岡市添川、長さ約38き）は、断層の東側が西側に対して相対的に隆起する逆断層です。
過去の活動時期から北部と南部に区分され、北部は1894年の庄内地震で動いたため、M7・1規模の地震が30年以内に起きる可能性は「ほぼ0%」。
これに対し、南部は最終活動から3000〜2000年ほどが経過し、M6・9規模の30年地震発生確率は「0〜6%」とされ、「高い」グループにあります。

国土交通省国土地理院の「都市圏活断層図」では、藤島川に沿って黒い線が引かれ、地盤の隆起・沈降があったことを示し、それが現在も生きていることから活褶曲と呼ばれています（図・HPから）。
平野部の浸食されてきた京田川などとは違い、藤島川の元町部分は溪谷のように大地がえぐられ、土手（堤防）がありません。
川に沿って盛り上がった地形が南北に続き、東西から圧縮されて大

地が波板状にしわになり、地殻変動による隆起で谷ができて形成されたと考えられています。
澤祥・鶴岡工専教授は、「褶曲も断層も地下では1本の断層でつながっており、将来の地震を考える上で重要性は変わらない」と述べています。
小中一貫校は撤回し、藤島中学校の改築を急いで！

藤島中学校は1968（昭和43）44に校舎棟が建設され、築55年が経過。旧耐震基準で、2009年度以降、耐震改修工事が行われましたが、地盤沈下等で段差が生じている箇所もあります。
2022年1月11日には、3階学習室の天井梁の化粧モルタルが落下しました。
鶴岡市は、藤島中学校の改築にあわせて小中一貫校にしようとしています。合意形成は容易ではなく、改築費用は倍の規模で約90億円となり困難です。
大規模な地震が想定され、小中一貫校は撤回し、藤島中学校の改築を急ぐべきです。



『駐鑾(ちゅうらん)之碑』



→ (写真2 南上から写す)

↑ (写真1 赤線で囲ったのが台座・中央石碑・南上から写す)

東田川史跡物語

『駐鑾之碑』規模調査の現段階②

青山 崇

『駐鑾之碑』の石碑台座は、石を一定の部分は地下に埋め、表面

令和6年度 藤島地域 地域まちづくり未来事業 27,792千円

1. 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興 6,481千円

- ・ 藤島地域人と環境にやさしい農業推進事業 804千円
- ・ 藤島農産物元気事業 1,883千円
- ・ 庄内農業高等学校地域連携事業 1,000千円
- ・ 藤島地域農の魅力拡大事業 2,794千円

2. 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 16,662千円

- ・ 藤島歴史公園「Hisu花」魅力発信事業 3,652千円
- ・ 藤島歴史公園「Hisu花」から始まる地域づくり事業 300千円
- ・ 東田川文化記念館利活用事業 ★ 438千円
- ・ 藤島花咲かせ活動支援事業 711千円
- ・ 藤棚の整備事業 3,861千円
- ・ ふじの里づくり事業 126千円
- ・ 鶴岡伝統芸能祭開催事業 790千円
- ・ 藤島地域里山整備活性化事業 100千円
- ・ ふじのまちかど整備事業 3,500千円
- ・ 藤島地域観光拠点魅力アップ事業 ★ 1,784千円
- ・ 藤島歴史公園案内表示板整備事業 ★ 1,400千円

3. ぐらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築 4,649千円

- ・ 長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業 3,217千円
- ・ 藤島地域公共交通再編事業 286千円
- ・ 藤島文厚エリア検討事業 346千円
- ・ 長沼温泉ぼっぽの湯活性化事業 800千円

(参考) その他未来基金を充当する経費(全体経費)

- ・ 事業推進員任用経費 15,743千円
- ・ 地域庁舎管内施設の小規模修繕事業(1庁舎あたり10,000千円) 50,000千円

のでこぼこを生かしている。

しかし、上から撮影した写真を見ると、何にも例えようがない奇妙な形(写真1)である。

加工したのは、石碑の周辺、正面の断面(高さ28cm)と三方に部分的にある断面だけである。

この台座石は島海火山系安山岩で、島海石・男鹿石ともいわれ、関東では庭石として知名度が高いという。



何の為にだったの

正直な話、裏金を握っていた議員全員から何に使ったのか聞きたいののだが、5人が出る・いや2人になったと言っていた政治倫理審査会に出る人数。首相が出る事になってゴネテいた人も5人出て審査会は終わったが、国民の不信を払うという最大の責任は果たさなかった。

▲何の為に首相が出てきたんだ？俺が思っていたのは、国民に不信を与え政治は信頼がなくなつたから、首相が率先して説明する為に出る事にしたんだろうという事。そんな潔い事を期待したのが阿呆だった。しかし、だから、何の為に首相は出る事にしたんだ？初めて政倫審に出た首相と、歴史に名を遺す為か？

▲自民党に政治倫理を

それはグレー色をした滑らかな表面で、水を吸いやすく苔がむししやすい特徴があるからである。

石の大きさを数字でみるために写した写真2の計測をみると。南側(写真2の手前)上部東西の最長は125cm、下部も含めた最長は150cm。南北最長は258cmである。

最長で計算した面積は、畳2枚強の大きさで。後述する基壇の面積の40%ほどである。

求める事は、八百屋で魚を求めるようなもの・ナンテ聞いたことがあるが、首相が出てまでの政治倫理の審査だ？なんでそうなるのよ。国民の疑惑を払う為と言いながらだよ。

▲全員がシラを切っているがそれは嘘だ。会計責任者は事務方で、金をどこに使うかを決める権限は持つていない。だから、怪しい金だからと使えずに貯めておいた・と言う事務方も居たとは、チャンと相談していた事だ。

▲昔を知っている森さん・二階さんに、何時から始まったか聞いて来いっちゃ。そうしないと国民の疑惑には応えられない。

▲しかし、ドサクサの政倫審の陰で、予算審議の打ち切りを決めていたんだと？全くヒドイ話だ。国民をバカにするにも、程がある。全く許せない。

(石川)